

当時、グループのメンバーが中々約束を守ってくれないことが増え始め、リーダーたる自分が、希望通りに動いてくれないメンバーに対する憂さ晴らしで書いた作品。

当時はスマホは存在せず、ガラケーが主に使われていたことを反映して、主人公の貴一もメールの打ち込みに力チカチと音を立てている。それも含めた効果音が、物語前半に集中している。

なお、劇中のモノローグ、(俺が聞きたいのは、そんな言葉じゃないんだ)には元ネタがあるが、漫画であること以外は秘密にしておこう。

結城の作品には珍しく、バッドエンドで終了している。

#### ○初公開(ヴォイスドラマ)

2010年6月

#### ○ジャンル

恋愛もの

#### ○登場人物

貴一(きいち) ○主人公で、25歳。東京出身。会社から転勤の辞令が出たため、千葉県に住んでいる。麻夜香とは遠距離恋愛中。

麻夜香(まやか) ○23才。貴一の彼女。東京の大学に通っていた頃貴一と知り合った。現在は静岡の実家に住んでいる。名前の由来は「まやかし」から。目には見えるのにまるで存在していないかのような云々。

#### ○当時のキャスト

貴一 ○青森裕

麻夜香 ○花鳥風月